

令和4年度 ROIS-DS-JOINT 2022 共同研究集会
オープンサイエンス時代の重力観測・データの流通と利活用

趣旨：

データ駆動型研究を推進するにあたって、同じ重力でも異なる研究コミュニティで取得されたデータについてその二次利用の促進を図っていくことは、統合的な地球科学的現象を検証・解析する上で重要なことであると考えられる。また、重力データの補正には、まったく異なるディシプリンのデータも必要不可欠であるため、近隣異分野の研究者とのデータのスムーズな共有や相互利用も、データ駆動型研究を推進するにあたって欠かせない要素となってきた。そこで、本共同研究集会は、【重力】をキーワードにデータの共有・二次利用についての認識の共有やその促進の方法について議論する場とし、データ駆動型研究を加速させる端緒にすることを目的とする。

日時：2022年12月19日（月）13:25 ～ 12月20日（火）12:30

場所：情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 (<https://ds.rois.ac.jp/accesslink/ds/>)

DS棟1F, 大会議室H108-1, (〒190-0014 東京都立川市緑町10-3 データサイエンス棟：次ページ参照)

オンライン：後日メーリングリストを通じて周知予定

12月19日（月） 予定：◎対面参加, ○オンライン参加

13:00	受付	
13:25-13:30	趣旨説明（事務連絡含む）	名和一成◎ （産総研）
座長：名和一成		
13:30-13:55	地質調査総合センター(GSJ)のデータ共有の現状	内藤一樹◎ （産総研）
13:55-14:20	地球科学研究一次データ管理・公開プラットフォームの構築	宮川歩夢○/◎ （産総研）
14:20-14:45	国土地理院におけるデータ共有に関する現状	川元智司○/◎ （地理院）
14:45-15:10	富士山の重力観測体制構築とこれまでの動向報告	本多亮◎ （富士山研）
15:10-15:25	NICT光原子時計の不確かさ軽減を目的とした測地観測の紹介	市川隆一◎ （NICT）
15:25-15:40	休憩	
座長：奥野淳一		
15:40-16:05	JAMSTECのデータポリシーについて	坪井誠司◎ （JAMSTEC）
16:05-16:30	海底測地データのオープン化の試み	石川直史◎ （海上保安庁）
16:30-17:05	GGOS, GGOS Japan, 日本測地学会におけるデータの取扱いの検討状況	横田裕輔◎ （東大生産研）
17:05-17:15	南極域における重力観測について	土井浩一郎◎ （極地研）
17:15-17:40	Polar Data Journal の紹介	金尾政紀◎ （PEDSC, ROIS）
17:40	事務連絡	

12月20日（火）

座長：奥野淳一		
9:05-9:30	地殻変動データベースの構築とオープンデータに向けた今後	大久保慎人◎ （高知大）
9:30-9:55	金沢大学の重力データの現況と重力異常データの解析事例	平松良浩○ （金沢大）
9:55-10:20	東北大学の重力データ収集システム	三浦哲○ （東北大）
10:20-10:45	国立天文台にある重力データとその保存・公開について	田村良明○ （天文台）
10:45-10:55	休憩	
10:55-11:35	歴史地震研究におけるデータ整備と公開	加納靖之◎ （東大地震研）
11:35-12:00	基調講演： ADSの概要と日本の北極研究プロジェクト及び南極地域観測隊との連携	矢吹裕伯◎ （極地研）
12:00-12:30	総合討論	名和一成◎ （産総研）

世話人：名和一成・産総研 (k.nawa@aist.go.jp), 奥野淳一・極域環境データサイエンスセンター (okuno@nipr.ac.jp)
Website: <https://sites.google.com/nipr.ac.jp/2022ds-rois-gravimetry>

